

指定管理業務評価結果書

1 施設の名称等

(1) 公の施設の名称	津山文化センター
(2) 指定管理者	所在地 津山市山下68番地 津山文化センター内 名称 公益財団法人津山文化振興財団 代表者 理事長 浮田 佐平
(3) 公の施設の所管部署	津山市教育委員会生涯学習部文化課
(4) 指定期間	平成21年4月1日 ~ 平成26年3月31日
(5) 評価対象期間	平成23年4月1日 ~ 平成24年3月31日

2 施設の利用状況

(1) 利用者数等	92,630人(前年度103,527人)
(2) 事業の内容	・施設管理業務及び自主文化事業等 (自主文化事業の内容) 音楽会, 映画会, 演劇, ミュージカル等 ・年間稼働率96.8%(前年度97.2%)

3 収支の状況

(1) 収入 (指定管理者の収入)	総額 48,305千円(前年度44,626千円) 指定管理料 23,600千円 利用料金収入 24,127千円 その他の収入 578千円
(2) 支出 (指定管理者の支出)	総額 42,378千円(前年度42,083千円) 主な支出 人件費 19,129千円 光熱水費 6,388千円 修繕・消耗品費等 1,140千円 委託料 12,066千円 負担金・公租公課 1,255千円 その他 2,400千円

4 総合評価結果

(1) アンケート調査等の概要	・施設の使用, 利用料金, 職員の対応について満足している。 ・施設の老朽化, エレベーター, 空調, 控室から舞台への導線等を改良して欲しい。
(2) 指定管理者の自己評価	・常に利用者の立場になり, 技術提供・アドバイスを積極的に行い, 安心して利用できる施設を目指し, 利用の拡大を図った。
(3) 市の評価	平成23年度は国際総合音楽祭の開催もあり, 高い稼働率を示し, また利用料金収入も増加した。来館者数は前年度よりは減少しているが, これは前年度の国民文化祭開催による来館者増のため一時的に減少しているものと思われ, 一昨年に比べると増加している。利用料金についても大幅に増加し, 収支において黒字を計上している。 アンケート調査によっても利用者の満足度の高さが伺え, 質の高い技術提供と日常のきめ細かなサービス等の努力により, 安定した館運営を行っている。 今後においては, 市内唯一の1000人規模の大ホールを持つ市民会館であり, 利用者ニーズの把握に努め施設の特性を活かした運営を行い, 更なる利用促進を図ることを期待する。